

2019年3月2日田沢湖芸術村温泉ゆぼぼにて秋田県診療放射線技師会県南支部2018年度支部総会および学術大会が開催されました。総会は31名の会員が出席し滞りなく報告を行うことができました。議長の労をとっていただいた木村会員には御礼申し上げます。皆様のおかげで円滑に議事が進行できましたことを改めて感謝申し上げます。

教育講演では川又副会長よりJART教育システムについてわかりやすくお話していただきました。若い会員のみならず皆さんがJARTを通して生涯学習に円滑に取り組めたらいいと思います。ありがとうございました。

特別講演では青森県立中央病院の佐藤兼也さんからITに関する話をしていただきました。放射線技師がITに積極的に関わっていく意味、ITを活用することで得られるもの、先進的な施設での取り組みや、ハッと気づかせて頂いたような驚きのアイデアや技術などを聞くことができました。その中で特に気になったのは仮想サーバーを用いて、各端末のキーボードやマウスを1つにまとめてしまうことで作業効率をあげることや、どの端末でもワークステーションメーカーを選んで行うことができるという技師の機械からの束縛をなくすものばかりで驚きの連続でした。またITで効率化を図ることにより病院の経営の健全化、科内の働き方の健全化に関わっていけるというのも魅力的でした。今はどの病院も経営努力が求められている中で、まだまだ技師がITに関わるというのは一般的ではないながらも、メリットが多々溢れており、この度の話を聞いたことは大きな財産であったなと感じます。貴重なご講演をいただき本当にありがとうございました。

学術大会では32名の参加を頂きました。最初に株式会社A-Lineより線量管理に役立つ情報を頂きました。法制化が進む中、タイムリーに必要な情報でした。今後ますます情報收拾を進めなければいけないと気づかされました。会員発表は6題の演題を出して頂きました。若い方の創意工夫が感じられ、さらなる検討を重ね自施設の業務に生かしていただければと思います。座長の労をとっていただいた佐藤会員には感謝申し上げます。学術大会の最後には市立秋田総合病院の工藤会員より東北放射線医療技術学術大会にて学術奨励賞を受賞された内容を踏まえて、CT検査の何が被ばく増加に影響するのかを被ばく線量調査をした結果からわかりやすくまとめてくださいました。時間の都合により頭部の話がメインとなりましたが、各々の施設がこれから何を意識して条件のブラッシュアップを進めていけばいいのかが明確になったと思います。ありがとうございました。

最後になります。参加頂いた会員の皆様、出席のため調整をして頂いた各施設の皆様、賛助会員の皆様には役員一同厚く御礼申し上げます。今後ともよろしく願い致します。

(文責 千葉)

